

開催日時	令和6年11月15日(金) 19時00分～20時55分
開催場所	web
出席者	間瀬、山本、木澤、小森、小山、永嶋、正木、山口、井貫、桑山、成田、岩田、熊谷、藤、中谷、有吉、樋笠、水田、中川、岩井、鮫島、松本
欠席者	
記録者	中川
議題1	会長報告
<p>間瀬会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動録(主なもの)</li> </ul> <p>10月20日協会組織運営協議会に出席。多くの事業の内容があった。                  診療報酬改定に向けたスケジュール、現金給与総額の引き上げ等。                  その他、今期は田中まさし氏の全国後援会入会説明会が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務審議会が行われた。</li> </ul> <p>2025年大目標:7代議員・理事会連絡会の実施:士会事業の反映、                  士会事業・予算の検討:適切な会費の実施など少し変更している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会費検討</li> </ul> <p>来年度総会で会費変更(案)を提出することになっている。                  拡大理事会で説明する内容の方針を決める。                  財務審議会、三役会の意見                  財務審議会からの意見                  会費変更案8500円(-1500円)への削減を提案。                  根拠:2024年予算作成時の見込み額は概ね適正。                  2024年総収入は2023年より増加が予測できる。                  8500円では500万円程度予備が出来るが、8000円では予備の費用がほぼなし。                  (説明資料あり)                  今年度少し上振れするくらい。                  2024年決算を見て最終判断すべきという意見もある(本年度も予算の執行率が悪い部署もある。収入に関して不透明な部分がある)。                  各部の執行率の経時変化説明。</p> <p>2025年度予算編成方針                  各部委員会は2023、2024年度の実績から予算を作成。新規事業に関しては考慮する。                  上記の目標:2024年度予算は会費削減の実施可能性を見た。                  2025年度予算は方針に沿った事業充実に考慮しつつ、新しい会費を決定→                  会費現(8500円)を目標。                  代議員・理事会連絡会で色々な意見が出ている。その実施、ミッションビジョンなどの新しい事業がある。                  来年度の総会で決定して再来年の会費に実施するということ。                  予算案策定スケジュール                  11月下旬 各部へスケジュールを連絡                  12月20日拡大理事会で説明                  1月9日予算案提出1次締切                  1月17日理事会で審議                  2月7日修正案2次提出</p>	
議題2	協議事項:学術局近畿ブロックからの提案について
<p>【内容】</p> <p>大阪府士会から以下の2点を提案された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府士会からの案①</li> </ul> <p>各施設で行われる研修会が士会研修承認として認められているが、そこをオープンにしてもらって質の担保にならないか。                  登録理学療法士以上なら講師として認められているが、それより上の認定理学療法士更新対象研修会の講師は認定理学療法以上として、登録理学療法士は認めない(協会は認など、地域から行動を起こして協会に言っていきたい。</p>	

(兵庫県の) 学術局としては、高名な先生が必ず認定理学療法士を取得しているとは限らないため、協会マニュアルに準じて開催したいと考えている。  
将来的に認定理学療法士が広く普及した際には、再検討したいと返答したいと考える。  
オープンにしていくことに関しては賛成。  
2026年度実現に向けて2025年度は移行時期として、支部運営審議会と学術局で審議会を重ねていきたいと考えている。  
・大阪府士会からの案②  
近畿学術大会の在り方について  
目的: 大会の質の向上と演題数の確保  
提案: 各府県の学術大会で発表された演題をブラッシュアップさせて、近畿に登録していただく。  
近畿内の大学院で院生が研究しているものを発表していただく場とする。

(意見) あまりにも多くの規定を作って守らないといけないということになると、自由度が減ってしまう。  
子育て世代の人が見れて生涯学習に繋がるというようなことがあればいいと思う。それを一律にダメって言われるとどうかと思う。  
推奨ということならいいが、自由度の高さを担保してほしい。  
大学院に関しては声をかけるというのは良いが、発表するかどうかは発表者が決めることなので、止めた方が良く思う。  
県士会が研究を指導するというようなことをいう時代ではないと思う。

→  
今の意見を反映させてもらって「推奨する」というように近畿ブロックで話し合ってください。

議題3 審議事項: 新人発表会 士会挨拶担当配置

【内容】

新人発表会での士会挨拶担当案提示。

【決定事項】

都合が悪いなどがあればラインワークス上でやり取りします。

時間などは各担当にお願いしたい。

議題4 協議事項: 研修会の参加費徴収方法について

【内容】

来年2月1日に開催予定している3士会合同特別支援学校連携セラピスト人材育成事業における研修会の参加徴収方法についてpeatixを使用したいと思います。

事務員と連携を取って行っていきたく思っている。1件当たり220円の手数料。

【決定事項】

承認

議題5 協議事項: 支部研修会助成事業について

【内容】

東播磨支部より

士会承認型研修会をしているが、自由に開催できるが、質の担保が問題である。

質の担保を確保しつつ、支部事業としての位置づけで研修会を開催出来ること。

助成事業については、加古川医師会の助成事業を参考に提案している。

支部会員の要望から、施設間連携や対面研修のニーズがあり、また、士会の方針としても、対面研修、会費負担軽減がだされている。

助成する件数は県士会予算に応じて変更可能とし、助成数の希望が多くても予算が増えることはない。助成件数は理事会でルールを決めていただければ。

ポイントについてはまだ不明。

一度支部運営審議会でご話し合い、それから理事会に挙げて下さい。

議題6 その他、報告事項

【内容】

・医療マネージメントは後任が決定。

・日本理学療法士協会から理事連絡会

代議員・理事会連絡会の報告をする。

全ての支部の意見をまとめた。

10個くらいにまとめることが出来た。

研修会の在り方について、情報発信の活用。

など。

この中からピックアップして協会との連絡会をしていきたい。

協会から士会組織運営確認表を送ってきている。ラインワークスに載せるので見ておいてください。

・来年度の学会は但馬であることを開催されますが、啓発部が体験会をいつも行っているが、出来るでしょうか。

→まだ分かりません。

・卒業生向けの説明会と来年度の新人研修会について

養成校への入会案内を対象とするものを啓発部が担当というのが話に挙がっていたと思う。

6月の新人研修会は別です。

養成校に対する案内の時に6(5)月の研修会を案内できれば。

スケジュールを先に作っていく。

啓発部と生涯学習部の担当で連携してお願いします。

・感染予防委員会開催の研修会を行いました。

いよいよ感染予防対策委員会の災害対策部への統合を行っていききたい。

担当役員と連絡していききたい

・士会業務プロジェクトについて

アンケートの回答がかんばしくない。

再度、依頼の案内をしましたので11月末を締め切りにしています。

担当部、支部にアンケートの回答依頼をしていただけるとありがたい。

・プライマリヘルスケアの案内が全体のメールに流れているので、HPTAインフォメーションに送ってください。

・逮捕者のその後の対応について

結審まで1、2年かかる可能性あり。

懲罰委員会にこの事案を報告することになっている。

次年度の総会に向けてなのか、決めていたほうがいいのかではないか。

協会と連絡を取る。

次回の予定	日時: 12月20日 拡大理事会
日時・場所	場所: web
今後の予定	